



# こもれびのいえ 通信

2024年11月1日発行  
NPO法人 こもれびの家  
八女郡広川町一條1065-7  
TEL 0942-53-5511

## こもれびの家の皆で植え、育てたさつま芋の紹介

さつま芋の美味しい季節がやってきましたね♪今年は何年より多く収穫できそうです。いもごはん、いもの天ぷら、ふかし芋に大学芋、さつま芋のサラダや白和えの具、みそ汁の具にも味を変え形を変えながらみんなにおいしく食べていただけたらいいな。

厨房リーダー 長野佳実

### 御礼

秋らしからぬ毎日の天気ですが、いかがお過ごしでしょうか。

母、高山洋子は10月15日夜、家族が揃ったところで生の気配を消しました。側で手を握っていた私が気づかぬほど静かなフェイドアウトでした。

23年夏にはコロナを発症して寝たきりとなり点滴で1か月以上。このままでは最期を待つばかりだと、点滴を外す決心をしました。一日でも一時間でもいい、管をはずして人間らしい生活の中に身をおいてほしい。

とはいえ一人で母を自宅介護するのは難しく、主治医の田口医師やNPO法人こもれびの家（宅老所）の毛利さん、リーダーで看護師の星野さんと話し合い、住人として迎えて頂くこととなりました。

こもれびの家は、大きな家族と思えるほどに安心とやすらぎを私たち母娘に与えてくれました。スタッフの皆さんの懸命の介護と声掛け、明るい笑顔、そして併設されている託児所の子どもの声、お陰で普通食が食べられるほどに回復しました。あれから1年以上を経たことは奇跡に近いと思っています。

こもれびの家のスタッフの方々、主治医である愛康内科の田口里香ドクター等々、多くの方に支えて頂きました。

17日13時より家族で葬儀を営みましたことを、ここにご報告いたします。生前、大切な時間を母と共有して下さった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、勝手ながらNPO法人こもれびの家に寄付させていただくことを、典返しのお返しに代えて頂きたいと思っております。母のように幸せな最期を迎えるためのお役に立てば幸いです。

2024年10月20日

高山純子

二〇二四年十一月号「こもれびの家通信」で、十月十五日にこもれびの家で亡くなった高山洋子さんの家族から丁寧な御礼の手紙と、やっとなり涼しくなり薬物野菜が採れ、新鮮でおいしい野菜の紹介をします。高山洋子さんは食べることが大スキで、良く噛んでごつくと飲み込む満足そうな高山洋子さんでした。苦しむことなく家族の方に看取られ静かに天に召されました。六年近く共に過ごしてきました。さようなら高山洋子さん、六年の思い出ありがとうございます。

管理者 毛利赫子

## テイサービスのようすです



芋掘り③ 沢山収穫できました



芋掘り②



芋掘り①



みそづくり①

### ● 11月の誕生日

23日 今村千賀子 さん

29日 富永 修 さん



みそづくり③



みそづくり②

託児と学童のようすです



何があるのかな？



たのしかった！みかん狩り



みかん、おいしいね

☆託児の子どもたちの様子☆

- 久保じょうたろう・・・細かい作業に夢中、ハサミやテープを使って何が出来る？
- 富松なおき・・・野外はウキウキ楽しくて笑顔もあふれ言葉もはずみます！！
- 久保はるの・・・鉄棒にチャレンジ、逆上がり出来そう！(^)!
- 鍋田ちず・・・あのね、ちずは一。と上手に順序立ててお話してくれます。
- 古賀いつき・・・お友達が話していると我先に話したい事が山盛り？！のいつきです。
- 枝村いちか・・・〇〇さん（スタッフ）を呼んでニカッ。呼ばれるの楽しみです。
- 大淵あさひ・・・おしゃべりが楽しくなってきましたねー。あっちこっちでお友達に声かけてます。
- 鐘本かずと・・・ベッドにのぼったりタルから柵へのぼったり...エ～...と連続運動神経バツグン！
- 西原りっか・・・食べるの大すきおやつもお昼ご飯もサッと席について待ってます。
- 坂口かいや・・・みんなと遊びたい、あれもこれもやってみたい、ワクワク楽しんでます。



もちなげ、たくさんもらったよ



雨の日のおさんぽ



大豆フミ踏み



大豆汁どんなおい



みそ作り準備万端！！



いもほり



室内、おさんぽ

●11月のうた



まつぼっくり



ドレミの歌

●11月の誕生日

鍋田ちず 5歳